

統計調査ニュース

平成29年（2017）11月

No.372



官庁データサイエンティストの育成を目指して

総務省統計研究研修所長 會田 雅人

統計研究研修所は、総務省の機関として、国家公務員及び地方公務員の統計能力の向上と統計家の育成のための専門研修を実施しています。また、各府省支援のための統計作成技術の研究にも力を入れて行くこととしています。

【データサイエンスの重要性】

データサイエンスと統計はほぼ同義語だと思います。アカデミーの世界では、本年4月に滋賀大学にデータサイエンス学部が新設され、来年には横浜市立大学でもデータサイエンス学部が設置される予定です。ビジネスの世界においても、品質管理手法である「シックス・シグマ」におけるDMAICプロセスでもデータ分析は重要視されていますし、マーケティングを始めとした近年のビッグデータの活用においてもデータ分析が重要です。

【統計改革推進での提言】

「統計改革の基本方針」（平成28年12月21日経済財政諮問会議決定）において、「統計研修所における「官庁データサイエンティスト」など高度な統計専門人材の育成を推進・・・」とされています。また、「統計改革推進会議最終取りまとめ」（平成29年5月19日統計改革推進会議決定）においても、「国・地方の職員一般のデータ・リテラシーの確保と、その段階的な技術向上を図るため、受講しやすく効果的な形式の研修を開発するなど統計研修の充実・強化等を実施」とされています。

【統計研究研修所の取組】

こうした中、統計研究研修所では、従来からの教室形式の研修に加え、多くの方々が受講できる方策として、2016年9月にオンライ

ン講座「初めて学ぶ統計」を立ち上げ、2017年7月に第2弾となる「統計データのできるまでー統計的推測の基礎ー」を開始しました。また、コースとしても、従来からの「データサイエンスセミナー」、「統計オープンデータ利活用ーAPI機能の活用事例の演習ー」などに加え、2017年度には、「ビッグデータ入門」、「マイクロデータ分析の基礎」などを加え新しい取組を行ってきています。今後は、官庁データサイエンティスト育成を目標に、データサイエンスの講座の充実、EBPMの考え方も取り入れた「政策と統計」に関するオンライン講座の新設などを計画しています。統計研究研修所への御支援、研修コースへの御参加をよろしくお願いいたします。

目次

官庁データサイエンティストの育成を目指して.....	1	統計研修生募集の案内	
平成28年社会生活基本調査 生活時間に関する結果の概要	2	ー平成29年度第4四半期(平成30年1~3月)ー	8
I「2017年度 統計関連学会連合大会」に参加して		11月28日開講！「社会人のためのデータサイエンス演習」	9
／II「経済統計学会 第61回全国研究大会」に参加して	4	統計データ・グラフフェアの開催について.....	10
「平成29年秋の叙勲」	5	中核市発とうけい通信㊟	11
第65回統計グラフ全国コンクール入選作品決定.....	6		

平成28年社会生活基本調査 生活時間に関する結果の概要

平成28年10月に実施した社会生活基本調査の生活時間に関する結果を本年9月15日に公表しましたので、その概要を紹介します。

社会生活基本調査は、国民の生活時間の配分及び自由時間における主な活動について調査しており、昭和51年の第1回調査以来5年ごとに実施しています。

平成28年調査は全国の10歳以上の約20万人を対象に、平成28年10月20日現在で実施しました。

今回公表した結果は、生活時間の配分に関する結果です。

なお、詳細な行動分類による生活時間の結果は、平成29年12月に公表する予定です。

夫と妻の生活時間

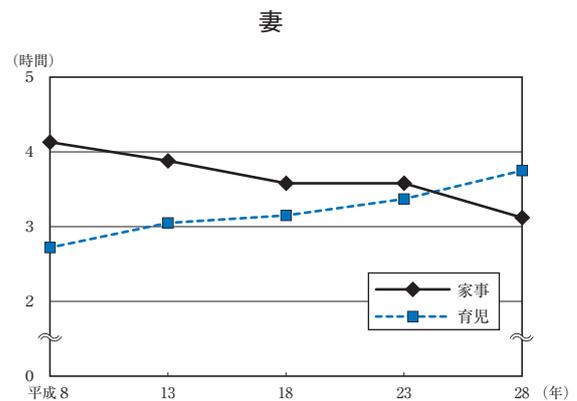
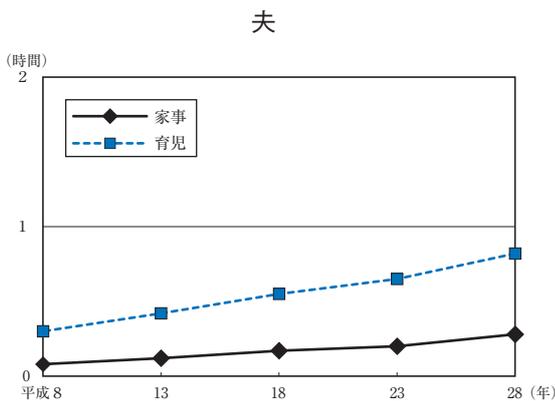
子供がいる世帯のうち、6歳未満の子供がいる世帯について、過去20年間の夫と妻の家事関連時間の内訳の推移をみると、平成8年に比べ、夫の家事時間は17分で12分増加、育児時間は49分で31分増加しています。一方、妻の家事時間は3時間7分で1時間1分の減少、育児時間は3時間45分で1時間2分の増加となっています。(表、図1)

表 6歳未満の子供を持つ夫・妻の家事関連時間の推移 (平成8年～28年)
一週全体、夫婦と子供の世帯

(時間.分)

	夫					妻				
	平成8年	平成13年	平成18年	平成23年	平成28年	平成8年	平成13年	平成18年	平成23年	平成28年
家事関連	0.38	0.48	1.00	1.07	1.23	7.38	7.41	7.27	7.41	7.34
家事	0.05	0.07	0.10	0.12	0.17	4.08	3.53	3.35	3.35	3.07
介護・看護	0.01	0.01	0.01	0.00	0.01	0.03	0.03	0.03	0.03	0.06
育児	0.18	0.25	0.33	0.39	0.49	2.43	3.03	3.09	3.22	3.45
買い物	0.14	0.15	0.16	0.16	0.16	0.44	0.42	0.40	0.41	0.36

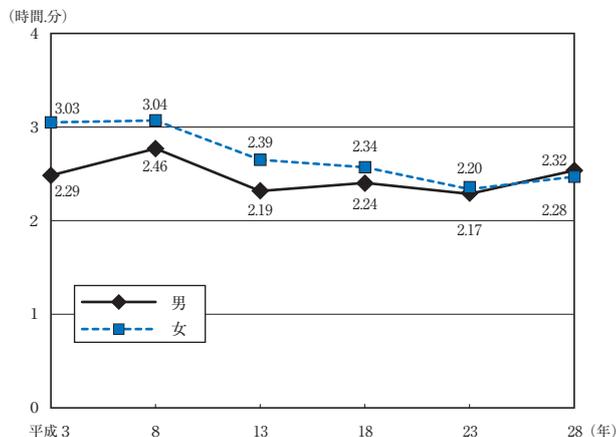
図1 6歳未満の子供を持つ夫・妻の家事時間、育児時間の推移 (平成8年～28年)
一週全体、夫婦と子供の世帯



介護・看護時間

介護者（15歳以上でふだん家族を介護している人）のうち，調査当日に実際に介護・看護を行った人の平均時間（行動者平均時間）は，介護・看護時間の把握を開始した平成3年以降，男性はおおむね横ばい，女性はおおむね減少傾向で推移しており，平成28年は男性が2時間32分，女性が2時間28分と，初めて男性が女性の行動者平均時間を上回りました。（図2）

図2 介護者の介護・看護の行動者平均時間の推移（平成3年～28年）一週全体，15歳以上



スマートフォン・パソコンなどの使用状況

スマートフォン・パソコンなどを使用した人の割合（使用割合）は，男性が61.9%，女性が58.4%となっています。男女，年齢階級別にみると，男女共に20～24歳の使用割合が最も高くなっており，15～59歳の年齢階級では，女性の方が使用割合が高くなっていますが，60歳以上では男性の方が使用割合が高くなっています。（図3）

また，スマートフォン・パソコンなどの使用時間が12時間以上の人は153万2千人で，使用した人のうち2.3%となっています。20～24歳では使用時間12時間以上が使用した人のうち男性が6.8%，女性が7.4%と割合が高くなっています。（図4）

図3 男女，年齢階級別スマートフォン・パソコンなどの使用割合（平成28年）一週全体

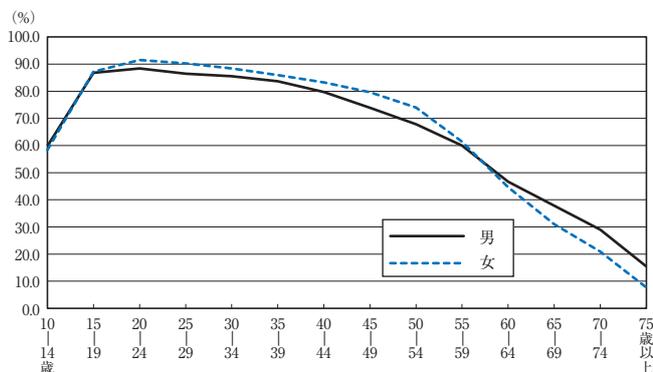
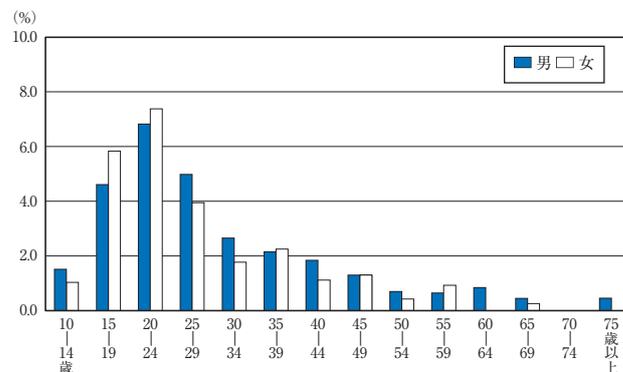


図4 スマートフォン・パソコンなどを12時間以上使用した人の割合（平成28年）一週全体



◆「平成28年社会生活基本調査」の詳しい結果については，次のURLを御参照ください。

<http://www.stat.go.jp/data/shakai/2016/index.htm>

統計局、政策統括官（統計基準担当）、統計研究研修所及び独立行政法人統計センターは、統計技術の研究その他統計の改善発達に資することなどを目的として、統計関連の学会に団体会員として加盟し、大会での発表を中心に積極的に参加しています。

平成29年9月に統計関連学会連合大会及び経済統計学会が開催されましたので、その概要を紹介します。

I 「2017年度 統計関連学会連合大会」に参加して

平成29年9月3日（日）から9月6日（水）にかけて、南山大学名古屋キャンパスにおいて、2017年度統計関連学会連合大会が開催されました。

本大会は、応用統計学会、日本計算機統計学会、日本計量生物学会、日本行動計量学会、日本統計学会、日本分類学会の6学会主催、南山大学の共催により開催されました。

今年度は、以下のテーマについて発表講演を行いました。（敬称略）

9月4日（月）13:00～15:00 ミクロデータ解析

- 研修教材としての擬似データの作成と利用
馬場 康維、岡本 基（統計数理研究所・統計研究研修所）、
野呂 竜夫、加藤 真二（統計研究研修所）

9月4日（月）15:30～17:30 統計教育

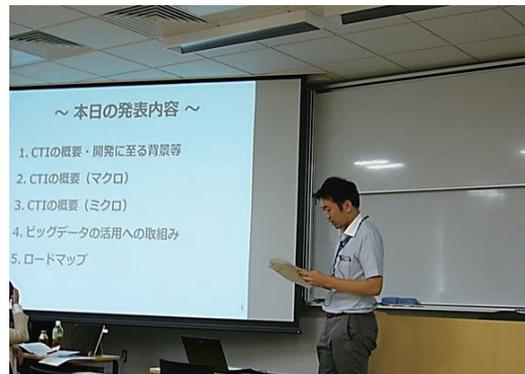
- 一般用マイクロデータ詳細品目版の作成手法～平成21年全国消費実態調査に基づく擬似データ～
伊原 一（独）統計センター）、
平澤 鋼一郎（調査企画課）

9月6日（水）10:00～12:00 公的・民間統計2

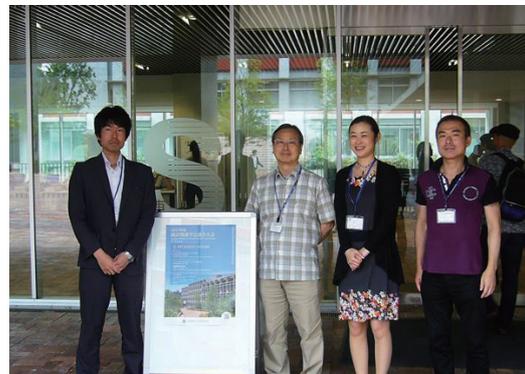
- ホワイトカラー労働者における勤務間インターバルの分析について
石井 竜太、長尾 伸一、永井 恵子（労働力人口統計室）
- 決定木とChow検定によるリコーディング境界値の分析
阿部 穂日（独）統計センター）ほか

9月6日（水）13:00～15:00 公的・民間統計3

- 消費動向指数（CTI）について
杉田 貴司（消費統計課）、
高部 勲（統計研究研修所）
- 欠測補完のためのドメイン設定とk-近傍法について
坂下 佳一郎（独）統計センター）



大会発表の様子



集合写真（南山大学にて）

II 「経済統計学会 第61回全国研究大会」に参加して

平成29年9月10日（日）から9月13日（水）にかけて、法政大学市ヶ谷キャンパス外濠校舎において開催された経済統計学会第61回全国研究大会では、以下のテーマについて発表講演を行いました。（敬称略）

9月12日（火）9:00～12:00 公的統計マイクロデータの活用推進に向けて

- コーディネーター・座長：宮内 亨（独）統計センター）
- 調査票情報のオンサイト利用への取り組み
田中 久睦（独）統計センター）
- 調査票情報のオンサイト利用における分析結果の持ち出し基準について

南 和宏（統計数理研究所・（独）統計センター）、
菊池 亮（NTTセキュアプラットフォーム研究所・（独）統計センター）

- 一般用マイクロデータ詳細品目版の概要 —平成21年全国消費実態調査に基づく擬似データ—
北林 三就、伊原 一（独）統計センター）、
平澤 鋼一郎（調査企画課）
- 統計教育・演算用のマイクロデータへの取り組みとその活用事例
宮内 亨（独）統計センター）

9月12日(火)9:30～12:00 日本の統計史を考える

コーディネータ：小林 良行 (統計研究研修所)

- 柳澤統計研究所—その成立と変遷—
小林 良行 (統計研究研修所)

9月12日(火)13:00～15:00 政府統計マイクロデータの作成技法に関する諸問題

- IPF法を用いた教育用データの作成方法
小林 良行 (統計研究研修所)
- 多項ロジットモデル及び主成分分析を用いた新たな統計的マッチング手法の提案
高部 勲 (統計研究研修所) ほか
- 諸外国の公的統計における欠測値補完の現状について
坂下 信之 (統計研究研修所)

9月12日(火)15:10～17:40 政府統計マイクロデータを用いた計量分析の新展開

- 経済センサスを活用した産業別の雇用創出・喪失の分析—ビジネスデモグラフィ統計の整備に向けて
高橋 雅夫 (統計作成支援課)



大会発表の様子



集合写真 (法政大学にて)

「平成29年秋の叙勲」

政府は、11月3日の文化の日に、「秋の叙勲」の受章者を発令しました。

総務省では、11月15日に東京プリンスホテルにおいて伝達式を行い、総務大臣から受章者に勲章が伝達されました。また、受章者は伝達式後、皇居において天皇陛下に拝謁しました。

総務省における統計関係では、永年にわたり国勢調査を始め各種統計調査に調査員として従事し、調査実施に多大な貢献をした次の方々が、勲章の榮譽に浴されました。栄えある叙勲にお祝い申し上げます。

【勲章受章者】 ※敬称略

○瑞宝単光章

牧 清 (北海道)	佐藤 美津子 (埼玉県)	大原 静穂 (愛知県)
寺澤 勝 (北海道)	南部 賢 (千葉県)	加藤 美智恵 (愛知県)
松井 啓市 (北海道)	江澤 貞雄 (千葉県)	大西 佳子 (滋賀県)
羽賀 晶子 (青森県)	田中 正男 (千葉県)	赤塚 君子 (京都府)
佐々木 勝利 (岩手県)	小菅 エツ子 (東京都)	泉 洋 (大阪府)
瀧澤 一 (岩手県)	三ヶ尻 美代子 (東京都)	江藤 智恵子 (大阪府)
佐々木 正昭 (宮城県)	白戸 幸一 (神奈川県)	田中 幸子 (大阪府)
柴田 靖雄 (秋田県)	薄井 英子 (神奈川県)	飯山 嘉子 (兵庫県)
渡部 甚作 (山形県)	菅野 多津子 (神奈川県)	大西 多恵子 (兵庫県)
岡部 銀子 (山形県)	三好 満子 (神奈川県)	仁井 典子 (島根県)
本名 昭司 (福島県)	太田 弘子 (新潟県)	竹本 毅 (岡山県)
菊地 和友 (福島県)	山本 弘子 (富山県)	播野 紀子 (岡山県)
鈴木 昌孝 (福島県)	畑上 登美子 (石川県)	田川 榮子 (広島県)
藤田 文男 (茨城県)	中村 稔 (福井県)	四方 通子 (香川県)
江尻 智子 (茨城県)	西澤 盛和 (長野県)	丸山 陽子 (愛媛県)
金子 弘 (茨城県)	酒井 孝子 (岐阜県)	一町 幸枝 (福岡県)
加藤 了子 (栃木県)	曾我 久子 (静岡県)	田中 由紀子 (佐賀県)
小山 陽子 (埼玉県)	榊原 みさ子 (愛知県)	鬼塚 正史 (長崎県)

特別賞及び特選作品

【日本統計学会会長賞】

子どもの貧困と支援の輪

【第5部（高等学校以上の生徒、学生及び一般）特選作品】

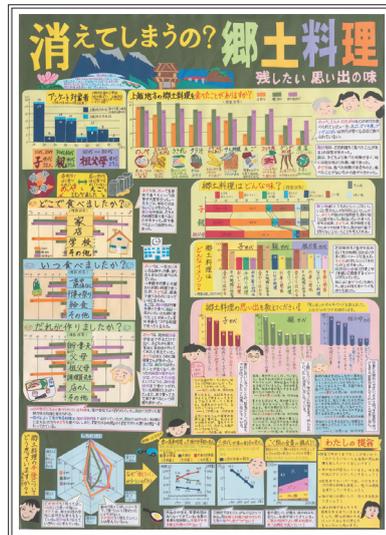


大分県立国東高等学校 1 年生 上岡 美月 (うえおか みつき) さん
一般 上岡 史子 (うえおか ちかこ) 様

【日本品質管理学会賞】

消えてしまうの？郷土料理 残したい思い出の味

【第3部（小学校5・6年生）特選作品】



新潟県上越市立春日小学校 5 年生 小川 芽生 (おがわ めい) さん

【第1部（小学校1・2年生）特選作品】

大はっ見！生活科 わくわくどきどき

やさしい作りで家ぞくでもコミュニケーション



茨城県土浦市立荒川沖小学校 2 年生 川村 怜愛 (かわむら れいな) さん

【第2部（小学校3・4年生）特選作品】

災害にそなえよう

～地しんと火事をくらべてみると～



香川県高松市立太田南小学校 3 年生 前田 壮一朗 (まえだ そういちろう) さん

【作品の展示】

これらの入選作品は、「統計の日」関連行事の一環として、10月28日（土）～29日（日）に新宿駅西口広場イベントコーナーで開催した「統計データ・グラフフェア」において展示されました。

また、表彰式を行った「第67回全国統計大会」の会場においても展示されました。

なお、各都道府県の統計グラフコンクールにおける入選作品は、各都道府県の展示会において展示される予定です。



統計データ・グラフフェアでの展示状況

▶▶▶ 統計研修生募集の案内 ◀◀◀

ー 平成 29 年度第 4 四半期（平成 30 年 1～3 月）ー

統計研究研修所では、国・地方公共団体の職員（教員を含む。）及び政府関係機関の職員を対象として、統計研修生を募集します。

今回の募集に係る研修内容等の詳細については、府省等、都道府県及び市区町村に別途送付する「統計研修の募集要項」又は統計研究研修所のホームページを御覧ください。

【<http://www.stat.go.jp/training/1kenshu/1.htm>】

統計研究研修所ホームページでは、一部の科目の「講義計画書（シラバス）」を掲載していますので、「講義のねらい」や「受講に必要な基礎知識等」などを参考にしてください。

統計入門課程 「統計実務者向け入門（1月）」

Excelで関数やピボットテーブルなど、PCの操作に慣れている職員を対象とした課程

《2日間》【募集人数 50名】

<研修概要>

- ・統計の初歩と、統計調査の企画設計・実施などの実務的な基礎知識を学ぶ
- ・演習も実施

<研修期間>

平成30年1月16日（火）～1月17日（水）

<応募締切>

平成29年12月1日（金）

<研修科目>

統計グラフの基礎、記述統計入門、統計調査入門

統計専門課程 「産業関連表の作成・分析」

Excelで関数やピボットテーブルなど、PCの操作に慣れている職員を対象とした課程

《5日間》【募集人数 40名】

<研修概要>

- ・産業連関表作成の仕組み、地域産業連関表作成の方法と演習 など
- ・産業連関表の知識と分析手法を演習・実例で学ぶ

<研修期間>

平成30年1月22日（月）～1月26日（金）

<応募締切>

平成29年12月1日（金）

<研修科目>

産業連関表の仕組み、地域産業連関表の作成、地域産業連関表の作成演習、産業連関表（全国表・地域表）の概要、産業連関表の考え方、産業連関表を用いた分析事例

統計専門課程 「マイクロデータ分析」

プログラミング又は統計解析ソフトのスキプトの作成経験がある職員を対象とした課程

《4日間》【募集人数 30名】

<研修概要>

- ・マイクロデータの分析のための知識と技術を学ぶ
- ・擬似マイクロデータを用いた演習
- *統計解析ソフトRを利用

<研修期間>

平成30年2月6日（火）～2月9日（金）

<応募締切>

平成29年12月18日（月）

<研修科目>

統計解析ソフトウェアRとマイクロデータ分析の基礎、標本抽出法と標準誤差の評価、マイクロデータ分析の実際

統計入門課程 「統計利用者向け入門（2月）」

Excelの基本的な操作ができる職員を対象とした課程

《3日間》【募集人数 50名】

<研修概要>

- ・統計の初歩と、データのまとめ方や主要統計指標の見方など実際の統計データによる利活用の基礎知識を学ぶ
- ・演習も実施

<研修期間>

平成30年2月14日（水）～2月16日（金）

<応募締切>

平成29年12月18日（月）

<研修科目>

統計の定義・分類、e-Statの利用、地図で見る統計（統計GIS）、統計グラフの基礎・作成、統計学入門（記述統計）、農林水産省及び経済産業省の統計の見方・使い方、人口問題と人口統計、雇用・失業問題と労働統計、景気動向と消費・物価統計

特別コース 「ビッグデータ入門」**新規講座**

Excelの基本的な操作ができる職員を対象とした課程
《1日》【募集人数 40名】

<研修概要>

- ・ 公的統計におけるビッグデータ、民間のビッグデータの現状、事例等を紹介

<研修期間>

平成30年2月20日(火)

<応募締切>

平成30年1月5日(金)

<研修科目>

ビッグデータの概要、ビッグデータとパーソナルデータ、ビッグデータの活用事例と分析方法、ビッグデータを身近に活用する方法

統計基本課程 「GISによる統計活用」

Excelの基本的な操作ができる職員を対象とした課程
《2日間》【募集人数 40名】

<研修概要>

- ・ GIS (地理情報システム) を用いた統計データの可視化と活用の手法を学ぶ
- ・ ビッグデータによる分析事例も紹介

<研修期間>

平成30年2月22日(木)～2月23日(金)

<応募締切>

平成30年1月5日(金)

<研修科目>

GISの概要、GISの活用事例、QGISの基本、QGISの演習

特別コース 「実務に役立つ統計技術」**新規講座**

Excelの基本的な操作ができる職員を対象とした課程
《1日》【募集人数 30名】

<研修概要>

- ・ 欠測値とは？補完のための統計技術とは？
- ・ 実務に活かすための統計技術を学ぶ

<研修期間>

平成30年2月27日(火)

<応募締切>

平成30年1月5日(金)

<研修科目>

欠測値補完の概要、統計における「外れ値」の処理、欠測値補完技術とは、統計の品質管理とは

<お問合せ先>

統計研究研修所研修企画課企画係

TEL 042-320-5874

FAX 042-320-5825

E-mail o-kenkikaku@soumu.go.jp

11月28日開講！「社会人のためのデータサイエンス演習」

将来の経済成長を担う“データサイエンス”力の高い人材育成のための取組として、データサイエンス・オンライン講座「社会人のためのデータサイエンス演習」を11月28日(火)から開講します。

本講座は、分析事例を中心に実践的なデータ分析(統計分析)の手法を学ぶことができます。

以下の講座紹介用ウェブサイトから、どなたでも受講登録が可能ですので、是非御活用ください。

<http://gacco.org/stat-japan2/>

※なお、本講座は、平成28年4月に実施した講座を再び開講するものです。

Data Science Online Course

データサイエンス・オンライン講座
「社会人のためのデータサイエンス演習」

2017年11月28日開講 受講料無料

総務省統計局が提供する講座第2弾
ビジネスの現場で求められている
データサイエンスをわかりやすく解説

【授業計画】

- 第1週：データサイエンスとは
データサイエンスが必要とされる背景やデータ分析に基づく問題解決プロセスを紹介
- 第2週：分析の概念と事例
記述統計によるデータの把握と比較方法について学習
- 第3週：分析の具体的手法
相関関係等の2変数の関係や時系列データの解釈について学習
- 第4週：ビジネスにおける予測と分析結果の報告
回帰分析による予測や分析結果の報告と解釈について学習
- 第5週：ビジネスでデータサイエンスを実現するために
ビジネスでデータサイエンスを実現するためのポイントについて解説

【前提条件】

表計算ソフトMicrosoft Excelの基本的な操作ができること

統計データ・グラフフェアの開催について

総務省政策統括官（統計基準担当）室では、「統計の日」（10月18日）の関連行事の一つとして、10月28日（土）・29日（日）、新宿駅西口広場イベントコーナー（東京都新宿区）において、総務省、東京都及び（公財）統計情報研究開発センター共催により、「統計データ・グラフフェア」を開催いたしました。

以下、当フェアの様子について、紹介いたします。



会場に出迎えるセンサスくんのみらいちゃん

統計グラフコンクール入選作品展示コーナー

統計グラフ全国コンクールの入選作品、東京都、埼玉県、千葉県及び神奈川県内の統計グラフコンクールにおける知事賞受賞などの入選作品を展示しているコーナーでは、国としての大きなテーマから身近なものを観察したテーマまで、様々な視点から作成された作品を展示いたしました。

御来場の方々も熱心に見入られ、気になった作品の写真を撮っている方もおられました。



統計グラフコンクール入選作品展示コーナーの様子

各府省の統計調査紹介コーナー

各府省の統計調査を紹介するコーナーでは、御来場の方々に国が実施する統計調査への関心と理解を深めていただくため、様々な統計調査について、調査の概要、統計調査結果、活用事例等について紹介いたしました。



各府省の統計調査紹介コーナーの様子

都道府県の企画展示コーナー

都道府県の企画展示コーナーでは、都道府県の誇る統計データを利用したパネルの展示及びそれに関連した配布用パンフレット等を配置いたしました。多くの来場者に御覧いただき、展示パネルや配布物の問合せも多数いただきました。



都道府県の企画展示コーナーの様子

前記のほか、今年度の「統計の日」標語の入選作品の紹介や、子供から大人まで身近に学べる統計の紹介などのコーナーを設けました。

総務省政策統括官（統計基準担当）室では、国民の皆様に統計の重要性に対する関心と理解を深め、統計調査に対するより一層の御協力を頂けるよう、これからも取り組んでまいります。

中核市発とうけい通信③

「北のクロスロード HAKODATE ~ともに始める 未来を拓く~」

函館市総務部総務課

函館と聞いてどんなことを思い浮かべるでしょうか。海の幸や夜景でしょうか。昨年3月には、北海道新幹線が開業し、函館を訪れる方も増えていることから、更なる交流人口の拡大が期待されています。一方で、一時は30万人を超えていた人口も263,101人（平成29年9月末現在 住民基本台帳）と、近年は減少傾向にあります。

そのような中、今回は函館の再生を目指し実施している様々な施策についてお伝えします。

○ 中心市街地の活性化

本市では、北海道新幹線開業を見据え、市民のみならず函館を訪れる全ての人に魅力のあるまちづくりを進めるため、中心市街地活性化基本計画（平成25年3月内閣総理大臣認定）を策定し、様々な事業を実施してきました。この計画に基づき、賑わいを創出する目的で設置した公共施設には次のものがあります。

① はこだてみらい館 [平成 28 年 10 月]

先端的な技術などを活用した様々な体験ができる交流の場を提供。プログラミングなどのワークショップも実施。

② はこだてキッズプラザ [平成 28 年 10 月]

子ども及びその保護者に対して遊びを通して交流する場と子育てを支援する場を提供、様々な子育て支援活動も実施。



みらい館



キッズプラザ

③ 函館コミュニティプラザ(G スクエア) [平成 29 年 4 月]

若者の自主性や社会性の向上を育む場や市民が相互に交流する場などを提供。函館出身のロックバンドGLAYをモチーフとしたレリーフやからくり時計も展示。

これらの施設には、同じ複合ビル内の商業施設とともに、多くの市民や観光客が訪れており、函館駅前・大門地区及び本町・五稜郭・梁川地区それぞれの賑わい創出につながっています。



G スクエア

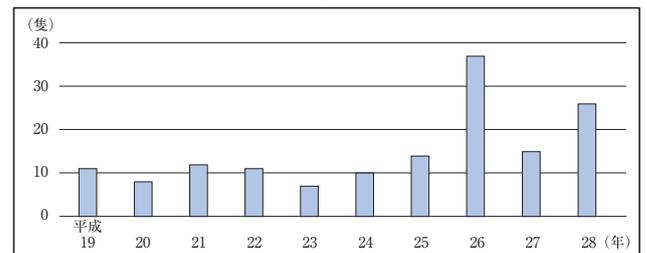
○ 函館港の機能強化

函館港は文化7年(1810年)から函館に拠点を置いていた高田屋嘉兵衛(1769~1827年 淡路島出身 江戸時代

後期の海運業者)らにより北洋漁業や本州各地との交易発展などで開港の基礎が築かれました。横浜・長崎とともに日本で最初の国際貿易港として早くから海外に門戸を開き、昭和26年には重要港湾に指定され、北海道と本州を結ぶ航路の拠点として、また、北洋漁業や造船修理の基地港として役割を担うこととなりました。

その後港湾計画に基づき順次整備が行われ、機能向上が図られていますが、物流機能・フェリーふ頭機能の強化や、国際観光交流拠点及び国際水産・海洋に関する研究・交流空間の形成など、多様な機能を持つ港湾を目指しています。近年、函館港を訪れるクルーズ客船が増加しており、現在、市中心部の函館駅に近接している若松地区において、旅客船ふ頭の整備が進められています。完成後は、交通の利便性が向上し、市内主要観光地への徒歩でのアクセスが可能となるため、滞在時間の拡大や観光消費への波及効果が期待されています。

クルーズ船入港実績



○ 日本遺産「北前船寄港地・船主集落」

平成29年4月、本市を含む11市町が共同で申請したストーリー「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～」が日本遺産の認定を受けました。本市のストーリー構成文化財には、「函館山」、「箱館奉行所跡」、「高田屋屋敷跡」、「高田屋本店跡」及び「厳島神社」があります。これら文化財群は、国内だけでなく海外へも戦略的に発信して、地域の活性化を図っていきます。

歴史好きの方には、世界遺産登録を目指している縄文遺跡もあり、また、函館発祥のBAL-GAI(バル街)という街歩きと飲食を楽しむイベントは、13年目を迎えた今も、毎回好評を博しています。



箱館奉行所跡
(写真：函館市教育委員会提供)

○ まとめ

このほかにも、函館には様々な魅力がたくさんあります。市街地と空港も近いので陸海空お好きな手段を使い、是非函館までお越しください。

最近の数字

		人口		労働・賃金			産業		家計（二人以上の世帯）		物価	
		総人口 (推計による人口)	就業者数	完全失業率 (季節調整値)	現金給与総額 (規模5人以上)	鉱工業 生産指数 (季節調整値)	サービス産業 の月間売上高	1世帯当たり 消費支出	1世帯当たり 可処分所得 (うち勤労者世帯)	消費者物価指数		
		千人 (Pは万人)	万人	%	円	H22=100	兆円	円	円	H27=100	東京都区部 H27=100	
実数	H29. 5	126,724	6547	3.1	269,968	100.1	30.4	283,056	308,120	100.4	100.1	
	6	P 12674	6583	2.8	433,043	102.3	P 31.5	268,802	593,992	100.2	99.9	
	7	P 12675	6563	2.8	370,823	101.5	P 31.1	279,197	480,878	100.1	99.7	
	8	P 12677	6573	2.8	273,886	103.5	P 31.2	280,320	401,134	100.3	100.1	
	9	P 12667	6596	2.8	P 267,427	P 102.4	...	268,802	358,526	100.5	100.1	
	10	P 12672	P 100.1	
前年同月比	H29. 5	-	1.2	* 0.3	0.6	* -3.6	3.2	-0.1	-2.2	0.4	0.1	
	6	-	0.9	* -0.3	0.4	* 2.2	P 1.8	2.3	0.2	0.4	0.1	
	7	-	0.9	* 0.0	-0.6	* -0.8	P 1.5	-0.2	2.1	0.4	0.2	
	8	-	1.3	* 0.0	0.7	* 2.0	P 2.0	0.6	1.6	0.7	0.5	
	9	-	1.1	* 0.0	P 0.9	*P -1.1	-	-	-0.3	2.3	0.7	0.5

(注) P：速報値 *：対前月
 家計（二人以上の世帯）の前年同月比は実質値
 サービス産業の月間売上高の前年同月比は、前年の調整値を用いて計算した値

掲示板 統計関係の主要日程 (2017年11月～12月)

≪会議及び研修関係等≫

時期	概要	時期	概要
11月1日	オンライン講座 「初めて学ぶ統計—公務員のためのオンライン講座—」開講（～12月31日）	12月5日	登録調査員中央研修（～6日）
〃	オンライン講座 「統計データのできるまで—統計的推測の基礎—」開講（～12月31日）	19日	第117回統計委員会、第86回基本計画部会
6日	統計研修 統計専門課程「国民・県民経済計算」開講（～10日）		
13日	第67回全国統計大会		
21日	第116回統計委員会、第85回基本計画部会		

≪調査結果の公表関係≫

時期	概要	時期	概要
11月2日	小売物価統計調査（ガソリン）平成29年10月分公表	12月25日	住民基本台帳人口移動報告（平成29年（2017年）11月分）公表
7日	労働力調査（詳細集計）平成29年（2017年）7～9月期平均（速報）公表	26日	労働力調査（基本集計）平成29年（2017年）11月分（速報）公表
〃	家計消費状況調査（支出関連項目：平成29年9月分及び平成29年7～9月期平均、ICT関連項目：平成29年7～9月期平均）公表	〃	家計調査（家計収支編：平成29年（2017年）11月分速報）公表
13日	個人企業経済調査（動向編）平成29年7～9月期結果（速報）公表	〃	消費者物価指数（全国：平成29年（2017年）11月分、東京都区部：平成29年（2017年）12月分（中旬速報値）及び平成29年（2017年）平均（速報値））公表
14日	家計調査（家計収支編：平成29年（2017年）7～9月期平均速報）公表	〃	小売物価統計調査（全国：平成29年（2017年）11月分、東京都区部：平成29年（2017年）12月分）公表
〃	家計調査（家計消費指数：平成29年（2017年）9月分及び平成29年（2017年）7～9月期）公表	28日	サービス産業動向調査（平成29年10月分速報）公表
15日	平成27年国勢調査 小地域集計（世帯構造等基本集計に関する集計及び従業地・通学地による人口・就業状態等集計に関する集計）公表	〃	サービス産業動向調査（平成29年7月分確報）公表
20日	人口推計（平成29年6月1日現在確定値及び平成29年11月1日現在概算値）公表	31日	統計トピックス 「戌年生まれ」と「新成人」の人口—平成30年 新年にちなんで—公表
22日	個人企業経済調査（動向編）平成29年7～9月期結果（確報）公表	月内	平成28年経済センサス・活動調査 産業別集計—事業所に関する集計—「鉱業、採石業、砂利採取業」、「製造業」 公表
27日	住民基本台帳人口移動報告（平成29年（2017年）10月分）公表	〃	平成28年経済センサス・活動調査 産業別集計—企業等に関する集計—「建設業及びサービス関連産業A」、「学校教育」 公表
30日	サービス産業動向調査（平成29年9月分速報、平成29年7～9月期速報）公表	〃	平成27年国勢調査 抽出詳細集計公表
〃	サービス産業動向調査（平成29年6月分確報、平成29年4～6月期確報）公表	〃	平成28年社会生活基本調査 調査票Bに関する集計公表
12月1日	労働力調査（基本集計）平成29年（2017年）10月分（速報）公表		
〃	家計調査（家計収支編：平成29年（2017年）10月分速報）公表		
〃	消費者物価指数（全国：平成29年（2017年）10月分、東京都区部：平成29年（2017年）11月分（中旬速報値））公表		
〃	小売物価統計調査（全国：平成29年（2017年）10月分、東京都区部：平成29年（2017年）11月分）公表		
8日	家計消費状況調査（支出関連項目：平成29年10月分）公表		
〃	小売物価統計調査（ガソリン）平成29年11月分公表		
12日	家計調査（家計消費指数：平成29年（2017年）10月分）公表		
20日	人口推計（平成29年7月1日現在確定値及び平成29年12月1日現在概算値）公表		
中旬	平成29年科学技術研究調査結果公表		

編集発行  **総務省統計局**
 〒162-8668 東京都新宿区若松町19-1
 総務省統計局 統計利用推進課 情報提供第一係
 TEL 03-5273-1160 FAX 03-3204-9361
 E-mail y-teikyou@soumu.go.jp
 ホームページ <http://www.stat.go.jp>
 御意見・御感想をお待ちしております。